

高等学校 令和6年度

教科

国語

科目 古典探究

教科： 国語 科目： 古典探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (精選古典探究(大修館書店))

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	感	配当 時数
		読	書	読					
A 古文編 第1部 説話(一) 十訓抄「大江戸いくの道」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・題材に応じて調査する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	古典の文章に慣れるとともに、和歌の表現技法(枕詞・所詞・掛詞・縁語)について理解する。	○	○	○	○	○	○	○	7
B 漢文編 第1部 思想 「賢哉回也」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・文字の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	儒家の代表的な書物である『論語』から、孔子の思想や門人たちの考え方を読み取る。	○		○	○	○	○	○	5
C 漢文編 第1部 思想 「不忠不孝」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・題材に応じて調査する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	孟子の主張を読み取り、人間本来の姿を考える。	○		○	○	○	○	○	8
定期考査					○	○			1
D 古文編 第1部 日記 要級日記「門出」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	日記としての形式や、文体、作者の意図を理解し、日記文学を知る。	○		○	○	○	○	○	8
E 古文編 第1部 日記 要級日記「源氏の五十余巻」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	筆者の回想部分から、執筆時の筆者の心情を読み取る。	○		○	○	○	○	○	11
定期考査					○	○			1

2 学 期	5	漢文編 第1部 史伝『史記』本紀(司馬遷) 項羽の最期 (一) 四面皆楚歌す 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などの確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める。	『史記』に描かれた漢楚の興亡の史実と豊かな表現を読み味わう。 ・様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深める。 ・「垓下の歌」から項羽の心情を読み解く。	○	○	○	○	○	8		
	6	漢文編 第1部 史伝『史記』本紀(司馬遷) 項羽の最期 (二) 我何の面目ありて之に見えん 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などの確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める。	項羽が烏江を渡らなかつた理由を読み取り、項羽の最期について自身の考えをまとめる。	○	○	○	○	○	10		
		定期考査						○	○	1	
2 学 期	7	古文編 第1部 物語(三) 大鏡「道真左遷」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・歴史的な文体の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などの確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古文の原文と口語訳、さらに複数の口語訳を読み比べ、理解したことをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	『大鏡』の構成と内容(記伝体・対話形式)を理解する。	○				○	○	16	
	8	古文編 第1部 物語(三) 大鏡「鏡べり」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを 理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・歴史的な文体の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などの確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古文の原文と口語訳、さらに複数の口語訳を読み比べ、理解したことをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	道隆と道長の兄弟間で心理的葛藤や伊周の心理を読み取る。	○				○	○	11	
		定期考査						○	○	1	
3 学 期	9	古文編 第1部 物語(二) 源氏物語「光源氏の誕生」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりを 理解する。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などの確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・題材に応じて調査する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	物語文学の最高峰の文章にふれるとともに、敬語等に注意し、適切に口語訳する。 また、漢文と平安文学との密接な関係を理解する。	○				○	○	○	12
	10	古文編 第1部 物語(二) 源氏物語「若紫」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりを 理解する。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などの確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・題材に応じて調査する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深め、古典作品への興味、関心を深める。	母の死後から若紫に出会うまでの時系列を理解し、光源氏が若紫に執心する理由と心情を読み取る。					○	○	○	12
		定期考査						○	○	1	